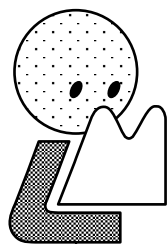


絵本の世界へ②

～小さい子向け(3歳くらいから)～

大阪市立図書館 2026



◎図書に関する記載事項は、次の順になっています。

書名／著編者・画家・訳者／出版社／本の大きさ／ページ数／ISBN

あおくんときいろちゃん レオ・レオーニ著・絵 藤田圭雄訳 至光社 21×21cm 40p 978-4-7834-0000-4

あおくんときいろちゃんは、いちばんのなかよし。あおくんは留守番中に家を抜け出してきいろちゃんに会いに行きます。絵の具で描かれた丸いかたちの主人公たちが活発に動き回り、想像力が刺激されます。

かいじゅうたちのいるところ モーリス・センダック著・絵 じんぐう てるお訳 富山房

24×26cm 40p 978-4-572-00215-0

母親に怒られて閉じこめられたマックスの部屋に不思議なヨットが現れます。着いた場所は“かいじゅうたちのいるところ”。そこで王様になったマックスですが、優しい誰かさんを思い出して帰りたくなってしまいます。

カレーライス 小西英子著・絵 福音館書店 22cm 23p 978-4-8340-8280-7

材料をそろえ、「ほら、きりますよ トントントン」と、カレーを作る様子をテンポよく紹介します。画面いっぱいに描かれた絵は迫力があり、自分が料理しているかのよう。においや温かさ、味まで伝わってくるような、思わずカレーライスを食べたくなる絵本です。



かばくん 岸田衿子著 中谷千代子絵 福音館書店 20×27cm 27p 978-4-8340-0081-8

動物園でのんびり暮らすカバの親子の一日が、人とカバ、両方の目線から描かれます。詩のような文章と素朴でスケールの大きな絵から、カバのユーモラスなしぐさや重量感が伝わってきます。

きんぎょがにげた 五味太郎著・絵 福音館書店 22cm 23p 978-4-8340-0899-9

赤い金魚が水槽からにげだした!花やキャンディーの中にかくれた金魚を、「こんどはどこ?」とさがす絵本です。カラフルな色合いの絵が楽しさをさらに引き立ててくれるので、夢中になって楽しめます。

くまのコールテンくん ドン・フリーマン著・絵 まつおか きょうこ訳 偕成社 23×25cm 30p 978-4-03-202190-5

デパートのおもちゃ売場のくまのコールテンくんは、連れ帰ってくれる友だちを待っていました。ある時、ズボンのボタンがとれたことに気づいて、夜の店内に探しに出かけます。初めてのもののばかりにわくわくしますが……。友だちができる結末には、誰もがほっとします。

ぐりとぐら 中川李枝子著 大村百合子絵 福音館書店 20×27cm 27p 978-4-8340-0082-5

お料理をすることと食べることが大好きな野ネズミのぐりとぐらが、森の中で大きなたまごを見つけました。2匹はそのたまごを使って、すてきな食べ物をつくります。人気シリーズの第1作目です。

こすずめのぼうけん ルース・エインズワース著 石井桃子訳 堀内誠一絵 福音館書店

20×27cm 31p 978-4-8340-0526-4

母親から飛び方を教わったこすずめが、外の世界を見にいきます。途中で羽が痛くなり、休ませてもらおうと色々な鳥の巣を訪ねます。温かい色調の絵とともに、ほっとする結末が心を和ませます。

11ぴきのねこ 馬場のぼる著・絵 こぐま社 27cm 40p 978-4-7721-0004-5

おなかをすかせたのらネコたちは、遠くの湖まで大きな魚を捕まえにやって来ました。みんなで作戦を練り、手ごわい魚と渡りあう冒険の様子をユーモアたっぷりに描きます。場面転換もテンポ良く、最後まで一気に読ませます。

ぞうくんのさんぽ なかの ひろたか著・絵 なかの まさたかレタリング 福音館書店

27cm 27p 978-4-8340-0515-8

天気の良い日、ごきげんなぞうくんは散歩に出かけます。かばくん、わにくん、かめくんと次々に出会い背中のにせてあげます。明るい色使いのすっきりした絵で、動物たちのにぎやかで楽しい散歩を描いています。

そらまめくんのベッド なかや みわ著・絵 福音館書店 20×27cm 27p 978-4-8340-1629-1

そらまめくんは自分のベッドが自慢で、大切にすするあまり誰にも貸しません。ある日、ベッドが行方不明になります。ベッドの行方を知って変化するそらまめくんの気持ちが親しみやすい絵で描かれています。

ちいさなうさこちゃん ディック・ブルーナ著・絵 いしい ももこ訳 福音館書店

17×17cm 28p 978-4-8340-0026-9

ふわふわさん夫婦にかわいい赤ちゃんがやってきました。皆がお祝いに集まります。生の肯定と喜びが読む者に伝わります。はっきりした描線と鮮やかな色が効果的です。



ちびゴリラのちびちび ルース・ボーンスタイン著・絵 いわた みみ訳 ほるぷ出版

22×26cm 32p 978-4-593-50077-2

森にゴリラの赤ちゃん、ちびちびが生まれました。家族に愛され、ヘビやキリンなど森のみんなに見守られて大きくなり、やがて1歳の誕生日を迎えます。子どもの成長を見守る、周囲のまなざしの温かさが伝わってきます。

どろんこハリー ジーン・ジオン著 わたなべ しげお訳 マーガレット・ブロイ・グレアム絵 福音館書店

31cm 32p 978-4-8340-0020-7

犬のハリーはお風呂が嫌いです。外へ逃げ出し思い切り遊んで帰ってきたら、どろんこになっているので、うちの人たちにハリーだと分かってもらえません。軽快なストーリー展開の、シリーズ代表作です。

ねずみくんのチョッキ なかえ よしを著 上野紀子絵 ポプラ社 25cm 31p 978-4-591-00465-4

ねずみくんは大切なチョッキをアヒルに貸してあげました。それをサルが借り、アシカが借り、ライオンが借り、どんどん大きな動物へ……。動物たちの表情もユーモラスで、ページをめくる楽しさにあふれています。

はなをくんくん ルース・クラウド著 きじま はじめ訳 マーク・サイモント絵 福音館書店

31cm 32p 978-4-8340-0095-5

雪深い森で眠っていた動物たちが目を覚まし、鼻をくんくんさせながら駆けていきます。その先には花が一輪咲いていました。色のない画面に咲く黄色い花が印象的で、春を迎える動物たちの喜びを感じさせてくれます。

はらぺこあおむし エリック・カール著・絵 もり ひさし訳 偕成社 22×31cm 25p 978-4-03-328010-3

卵から生まれたちっぽけなあおむしが、いろいろなものを食べてチョウになるまでを、あふれんばかりの鮮やかな色彩で描いています。工夫を凝らした仕掛けも楽しく、子どもたちの心をひきつけます。

もりのなか マリー・ホール・エッツ著・絵 まさき るりこ訳 福音館書店 19×27cm 40p 978-4-8340-0016-0

ラッパを持って一人で出かけた森の中で出会った動物たちは、僕の散歩についてきます。ライオン、ゾウ、クマ、カンガルーとどんどん増えて、皆でお菓子を食べたりかくれんぼをしたりして遊びます。黒一色のコンテで描かれた絵が、動物たちとの楽しい時間を想像させてくれます。

わたしのワンピース にしまき かやこ著・絵 こぐま社 20×22cm 44p 978-4-7721-0018-2

空から落ちてきた真っ白なきれいで、ウサギはワンピースを作りました。ワンピースは、花畑を歩くと花柄に、雨が降ると水玉模様に変わります。子どもの空想に寄り添って、楽しく夢を広げてくれます。

わにわにのおふろ 小風さち著 山口マオ絵 福音館書店 22cm 24p 978-4-8340-1970-4

わにわにはおふろが大好き。「きゅるきゅるり」とじゃぐちをひねり、「じゃばじゃば」とお湯を入れ、「じょろーん!」と飛び込みます。こわいはずのワニが子どものようにしゃぐさまが、ユーモラスな版画で楽しく描かれています。